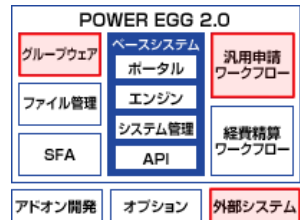


株式会社アイデアインターナショナル 様

ワークフローの導入により、経費精算の効率化と意思決定のスピード化を実現！

今後は社内業務の「見える化」ツールとして活用！



卸売業

会計システム連携

業務効率化

情報の見える化



会社概要

- 会社名
株式会社アイデアインターナショナル
- 所在地
(本社) 東京都港区
- 事業内容
製造卸売事業
小売事業
空間プロデュース事業
- 従業員数
152人 (平成23年8月現在)
- URL
<http://www.idea-in.com/>

POWER EGG利用環境

- 導入時期
2008年 (Ver1.9を導入)
- 現在の製品バージョン
POWER EGG2.0
- ライセンス数
200ライセンス

【取材ご協力者】



- 右) 常務取締役
経営管理部・部長
松原 元成 様
- 中) 経営管理部
総務グループ・グループリーダー
泉 祐紀 様
- 左) 経営管理部
総務グループ
中南 浩利 様

※お役職名は取材当時のものです。

POWER EGGの特徴の1つ、それは「活用の場が広がることでその価値が高まる」こと。つまり、使えば使うほどシステムとしての必要性が向上し機能面の良さを実感できる点が、パワーエッグの評価されているポイントです。

今回の事例は、そんなPOWER EGGの特長が活かされている典型例です。最初は何となく導入されて、何となく利用し始めたら、いつの間にか気が付けば社内業務の標準ツールとして不可欠のものとなり、いまや新たな課題解決のためのキーツールとして、いつしか大きな期待が寄せられている…。アイデアインターナショナル様における、そんな事例をご紹介します。

「まず会計システムありき」からスタートして POWER EGG V1.9 を導入。

■ 会計システムと親和性の良い経費精算ワークフローを

同社が新たな会計システムの導入を検討していた頃、同時に経費精算業務の効率化という課題が浮上した。従業員の経費精算業務に時間がかかり過ぎること。各部署からの経費精算がすぐ上がって来ないこと。さらには海外出張する社員が多いがその旅費精算が滞りがちであることなどが、問題となっていた。つまり新会計システムの稼働にあたり、経費精算業務の効率化が課題として浮上したのだ。

そこで白羽の矢が立ったのが、当時の POWER EGG V1.9 である。新たな会計システムと親和性の良いソフトがあるよ、ということで会計システムを納入したベンダーから、経費精算ワークフローを持ち、グループウェア機能も有する POWER EGG V1.9 が同社に紹介されたのだ。つまり POWER EGG V1.9 は、新しい会計システムを円滑に運用するためのサブシステムとして導入が決まったのである。

「この会計システムと POWER EGG V1.9 の経費精算ワークフローの導入によって、経理業務は大幅に効率化されました。従来の紙を電子化することでデータの取扱いがラクになり、ハンコ押印や割り印の手間も省けました。もともと、じゃあどれくらい効率化されたかとなると、導入したのがもう何年も前のことでそれ以降業務量も増えていますので、一概には比較できません。でも業務量が増えているということは、それだけ個々の業務の処理スピードがアップしているわけですから、これがつまり効率化の証明でしょうね」(松原氏)

第2段階は「総務業務の効率化」。いつの間にか、汎用申請ワークフローやグループウェア活用が当たり前。

■ 汎用申請ワークフローの活用

経理業務の効率化に次いで、同社では総務業務の効率化に取り組んだ。ここで役立っているのが、汎用申請ワークフローである。現在、稟議申請はほとんど電子化され、全社員が使用している。
注：従来の稟議書は8割が電子化されている。ただし、量の多い添付書類がある場合は紙で回すことがある

「新人への POWER EGG 教育は、汎用申請ワークフローの使い方を中心にやっています。これ無しでは、仕事が進まないからです。そこで、ワークフローをベースに一連の処理の流れを説明することで POWER EGG の理解を促しています。グループウェアの教育は必要ありません。実際に使っているうちに、すぐに慣れますから。いずれにしてもWebベースなのですぐ馴染み、導入時教育の敷居は低いですね」(中南氏)

ではワークフロー活用の効果はどうか？ 以下のような点が、便利なポイントとして挙げられている。

- 決裁処理のスピードが上がっている。紙の管理が無くなり、メール承認の頃よりも管理がラク。
- 申請書類の検索も、紙ファイルから探し出す訳じゃないからすぐ見つかる。
- 海外出張中の人でもインターネットから申請書の状態を見られる点が便利。また、決裁者はアシストメッセージで決裁書類に気がつくので決裁が滞らない。香港の協力会社に社員が出向しているが、稟議申請も問題無い。また海外にいて、国内を回っている稟議書がどこで止まっているのかがすぐ分かる。
- 社長や役員が海外にいる時でも、以前はメールで対応していたので決裁に時間がかかっていたが、いまは POWER EGG2.0 でインターネット経由で処理するから稟議決裁のスピードがアップ。



◀「稟議申請」画面のイメージ▶

■グループウェアの活用

●スケジュール

互いに予約できる便利さを活かすため、本社内では全員のスケジュールが閲覧オープンになっている。アラート機能があると助かるので、POWER EGG2.0 Ver2.2 から搭載されたリマインダ機能にも興味がある。

●掲示板

本社から各地の店舗へ、POPなどの販促物の制作データを送付したりする際に、メールはテキストだけにして軽くし、制作データは掲示板の上に添付する。そして各店舗でデータをダウンロードして印刷掲示する。これは、従来はメールで対処していたが、掲示板を活用することでサーバの負荷がずいぶん軽減された。

泉氏によれば、グループウェアの活用一例は以上のような状況である。使い方の便利さに慣れ、当たり前の日常業務ツールとして運用が定着しているからこそ、「もっと便利に使えないか」という具体的な要望が増えつつあるようだ。

そして第3段階。課題は効率化から“見える化”へ。そのフロントツールとして、POWER EGG2.0 への期待が。

「経理業務・総務業務の効率化については、おかげさまでかなり進んでいます。総務部門としての現在の課題は“見える化”です。このテーマは経営会議の至上命題であり、いま起きていることを社員および経営者に“見える化”して行くためのフロントツールとして POWER EGG2.0 をどう活用するか、そこをこれから試行錯誤して行きたいですね」（松原常務）

●勤怠管理の“見える化”

同社では全員出社するとPOWER EGGを立ち上げ、個人ポータル画面からシングルサインオンで勤怠システムを呼び出す。（右図、時計アイコンから勤怠システムを起動）POWER EGGがこの出退勤管理の入口となることで、勤怠管理が“見える化”されているわけだ。

●スマートフォン対応による“見える化”

経営トップのための“見える化”ツールとして、小型・軽量のスマートフォンへの関心が高い。現状は携帯電話を活用して承認をしているが、画面が小さくて使いにくい。しかしとはいえPCだと携行が不便、そこでスマートフォンへの期待が出てくる。

◀個人ポータル画面「時計アイコンのイメージ」▶



「新幹線や飛行場での待ち時間を利用して、情報検索しながら決裁もできれば、トップにとっては便利なツールになりますね。営業数字などを集計しているDBとリンクできれば、なおいいですね」（中南氏）

効率化から“見える化”へ。管理会計システムの“ついで導入”から約3年。POWER EGG2.0 は、その運用活性化・定着が進む中で、いまや同社の経営戦略上不可欠のツールとして新たな期待が寄せられるようになっている。



ディサークル株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1
住友不動産千代田ファーストウイング
TEL:03-3514-6060 FAX:03-3514-6069
<http://www.d-circle.com/>

取り扱いパートナー

※POWER EGGはディサークル株式会社の登録商標です。
※その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。
※本事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があります。あることをご了承ください。